

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 4 区分

【発行日】平成29年12月7日 (2017.12.7)

【公表番号】特表2016-530395(P2016-530395A)

【公表日】平成28年9月29日 (2016.9.29)

【年通号数】公開・登録公報2016-057

【出願番号】特願2016-510668(P2016-510668)

【国際特許分類】

B 2 2 F 9/14 (2006.01)

G 0 1 N 15/02 (2006.01)

G 0 1 N 21/65 (2006.01)

B 8 2 Y 40/00 (2011.01)

B 8 2 Y 30/00 (2011.01)

B 8 2 Y 5/00 (2011.01)

B 0 1 J 13/00 (2006.01)

B 2 2 F 1/00 (2006.01)

【F I】

B 2 2 F 9/14 Z

G 0 1 N 15/02 Z

G 0 1 N 21/65

B 8 2 Y 40/00

B 8 2 Y 30/00

B 8 2 Y 5/00

B 0 1 J 13/00 B

B 2 2 F 1/00 K

B 2 2 F 1/00 L

【誤訳訂正書】

【提出日】平成29年10月27日 (2017.10.27)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

電解質を含む液体中に 0.01 nm l / L を越える濃度を有する複数の貴金属ナノ粒子を備えるコロイド状懸濁液であって、

前記コロイド状懸濁液は、前記電解質が希釈されて $20 \mu\text{S / cm}$ 以下に前記コロイド状懸濁液の電気伝導率が減少すると、前記貴金属ナノ粒子の平均粒度の増加を示すコロイド状懸濁液。

【請求項 2】

前記電解質は、少なくとも一つの陰イオン又は陽イオンを含む有機塩又は無機塩である請求項 1 に記載のコロイド状懸濁液。

【請求項 3】

前記少なくとも一つの陰イオン又は陽イオンは、周期表における第 1 族元素、周期表における第 2 族元素、周期表における第 15 族元素、周期表における第 16 族元素、周期表における第 17 族元素、及び有機酸基からなる群から選択された少なくとも一つの元素を含む請求項 2 に記載のコロイド状懸濁液。

【請求項 4】

前記貴金属ナノ粒子の平均粒度が増加するために必要な前記電気伝導率の前記閾値は、 $5 \mu S / cm$ 以下である請求項 1 ~ 3 の何れか一項に記載のコロイド状態濁液。

【請求項 5】

前記貴金属ナノ粒子の平均粒度は、 $10 nm$ 以上である請求項 1 ~ 4 の何れか一項に記載のコロイド状態濁液。

【請求項 6】

請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載の貴金属ナノ粒子のコロイド状態濁液よりなる分光法システム。

【請求項 7】

基板上に配置されたキャストフィルムを備える分光法システムであって、前記キャストフィルムは、請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載のコロイド状態濁液と分析物との混合物から得られる貴金属の粒子を備える分光法システム。

【請求項 8】

請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載のコロイド状態濁液から得られる貴金属ナノ粒子を備える、免疫クロマトグラフィー分析法のための装置。

【請求項 9】

分析物が混合された請求項 1 ~ 5 の何れか一項に記載のコロイド状態濁液から得られる貴金属ナノ粒子を備える画像形成剤。

【請求項 10】

前記コロイド状態濁液は、前記コロイド状態濁液の前記電気伝導率が $20 \mu S / cm$ 以下の初期の値から $20 \mu S / cm$ 以下に設定された変化量で減少すると、前記コロイド状態濁液中の前記貴金属ナノ粒子の平均粒度の増加を示す請求項 1 に記載のコロイド状態濁液。

【請求項 11】

貴金属ナノ粒子のコロイド状態濁液を作製する方法であって、

- a) 液体の分散媒と接触状態にある貴金属を備えるターゲット材料を提供するステップを備え、前記ターゲット材料と前記分散媒がアブレーション容器と接触状態にあり、
- b) レーザパルスを前記アブレーション容器内の前記ターゲット材料に送出することによって複数の貴金属ナノ粒子を発生するステップと、
- c) 前記複数の貴金属ナノ粒子を発生する前又は発生中に、前記分散媒の電気伝導率を $15 \mu S / cm$ 以下に維持するように前記分散媒の前記電気伝導率を監視しつつ調整するステップと、
- d) 前記貴金属ナノ粒子のコロイド状態濁液を形成するステップと、を備える方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】図面

【訂正対象項目名】図 6

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【図 6】

